

第16回沖縄県国家戦略特別区域会議 沖縄県提出資料



令和5年12月18日



沖縄県

【認定申請】沖縄県 外国人乳幼児が多い認可外保育施設の特例

現状・課題

- 北谷町には、嘉手納飛行場、キャンプ桑江、キャンプ瑞慶覧及び陸軍貯油施設の4つの米軍関係施設があるため、多くの外国人が居住し、外国人乳幼児も多い地域となっている。
- 外国人乳幼児が多い認可外保育施設では、主な使用言語が外国語であるため、外国語を話せる人を雇う必要がある。
- 日本の保育士資格を保有し、かつ、外国語が話せる人を雇うことは難しい。

事業概要

指導監督基準上、認可外保育施設において保育に従事する者の3分の1以上は日本の保育士等の資格を保有していなければならないが、外国人乳幼児が多い認可外保育施設では基準を満たすことが難しい状況である。

そのため、沖縄県北谷町内の外国人乳幼児が多い認可外保育施設については、日本の保育士等の資格保有者の割合が3分の1未満であっても、外国の保育資格を有する者を配置するなど一定の要件を満たした場合、指導監督基準上の保育従事者の数及び資格の要件に適合したものとみなす。

効果

保育施設は、乳幼児と同じ言語を話せる保育従事者を積極的に採用ことができ、保育従事者と乳幼児の間で、円滑にコミュニケーションをとりながら保育することができる。

また、指導監督基準を満たすことで令和6年10月以降も無償化対象施設となる。

乳幼児の処遇向上及び保育の質の向上

